

令和4年度

事業報告書

収支決算書

公益財団法人 厚木市文化振興財団

目 次

I 令和4年度事業報告書

- 1 事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
- 2 事業内容
 - (1) 市民文化の創造及び育成に関する事業・・・・・・・・・・3
 - (2) 市民文化の普及及び振興に関する事業・・・・・・・・・・3～4
 - (3) 芸術文化の鑑賞機会の提供に関する事業・・・・・・・・・・5～6
 - (4) 文化情報の収集及び提供に関する事業・・・・・・・・・・7
 - (5) 芸術文化振興に関する調査研究に関する事業・・・・・・・・7
 - (6) 芸術文化振興のための国際交流に関する事業・・・・・・・・7
 - (7) 文化施設の管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

II 令和4年度収支決算書

- 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 正味財産増減計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～11
- 正味財産増減計算書内訳表・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 財務諸表に対する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・13～15
- 附属明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 財産目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

III 監査報告

- 監査報告書

I 令和4年度事業報告書

1 事業概要

令和4年度の財団の事業展開については、定款に定める各分野にわたって推進することとし、自主事業20事業、共催事業11事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響が残り、自主事業19事業、共催事業11事業の実施となった。

- (1) 市民文化の創造及び育成については、演劇や音楽を通じ劇場自ら創造発信する「厚木シアタープロジェクト事業」として、劇団扉座の公演「神遊（こころがよい）-馬琴と峯山-」と「最後の伝令 菊谷栄物語-1937 津軽～浅草-」を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた扉座による演劇ワークショップ事業を3年ぶりに実施。これまでの長期型ワークショップではなく、単発で演劇初心者の大人と子供を対象に実施した。

ロビーにピアノを設置し、誰でも弾くことのできる「どこでもピアノ」を実施。小ホールでの主催事業と連携し、出演者によるサプライズ演奏を行った。

- (2) 市民文化の普及及び振興については、「厚木ジャズ祭2022」が中止となったが、新規事業として平日午後のカジュアルなコンサートシリーズ「ATSUGI AFTERNOON CONCERT SERIES」をスタートさせた。今年度はクラシックとジャズの2公演を実施し、ともに好評を得ることができた。

市内小学校に出向いて行うアウトリーチ事業については、神奈川芸術文化財団・地域創造との連携事業「公共ホール創造ネットワークモデル事業」として小学生向けダンス（身体表現）ワークショップを市内2校で実施。また音楽鑑賞事業として、ヴァイオリンとハープによるレクチャーコンサートを市内6校で実施した。

「私だけのスタインウェイピアノ@大ホール」については、ホールの空きを活用して計7日間実施した。

- (3) 芸術文化の鑑賞機会の提供については、2020年に中止となった「鼓童」公演、「松竹歌舞伎」公演を3年ぶりに実施することができた。クラシック公演としては昨年につき「NHK交響楽団厚木公演」と厚木初登場となる「石田組」公演を実施。毎年恒例となっている「あつぎ寄席」についても予定どおり2回実施することができた。

また、コンサート本番時における地震と避難誘導を想定した「避難訓練コンサート」を実施した。そのほか「県美術展厚木巡回展」など多様な事業を実施し、幅広い世代に親しまれる舞台公演や芸術文化の鑑賞機会の充実に努めた。

- (4) 文化情報の収集及び提供については、「ぶんか情報館」、「文化会館スケジュール」、「ホームページ」「フェイスブック」などの各種広報媒体を通して、芸術文化情報の提供及び最新の情報発信に努めた。
- (5) 芸術文化振興に関する調査研究については、公演ごとのアンケート調査や施設利用者アンケートを実施し、共催事業の選定や次年度以降の自主事業設定の参考資料とした。
- (6) 芸術文化振興のための国際交流に関する事業については、隔年度に実施する事業のため、令和4年度は実施なし。
- (7) 文化施設の管理運営については、指定管理者として、日々の管理点検の徹底、節電対策等環境に配慮した経費の削減、利用者にとって快適で利便性の高い芸術文化の発信・活動拠点としての環境整備などに取り組むとともに、利用者の「災害時対応マニュアル」の理解促進に努めた。

また、全職員が参加した休館日を利用したバリアフリー対策や防災に関する研修を実施するとともに、観客も避難訓練に参加する事業を実施するなど、利用者のサービス向上と安全に配慮した体制作りに努めた。

新型コロナウイルス感染症対策の取組については、館内の消毒を始め、入館時の検温やサーマルカメラの導入など細心の注意を払った。

また、貸館については、ガイドラインに沿った安心して利用できる施設づくりを推進した。

令和4年度の利用者数は153,639人（前年比202%）であった。

2 事業内容

※大、小ホールとも感染症予防対策のため、前方の座席使用不可部分あり。

(1) 市民文化の創造及び育成に関する事業

	事業名	開催日	入場料等	会場	入場者数等
1	厚木シアタープロジェクト 第34回公演 劇団扉座 「神遊(こころがよい) -馬琴と華山-」	6月4日(土) 6月5日(日)	一般 4,500円 学生 2,000円 (全席指定)	小ホール	①186人 ②250人
2	どこでもピアノ	9月8日(木) 9月9日(金)	—	大ホール 前ロビー	延べ30人
3	厚木シアタープロジェクト ネクストステップ第11回公演 劇団扉座 「最後の伝令 菊谷栄物語 -1937津軽～浅草-」	12月10日(土) 12月11日(日)	一般 4,500円 学生 2,000円 (全席指定)	小ホール	①190人 ②246人
4	厚木シアタープロジェクト こども演劇体験教室	2023年 3月25日(土)	参加費 1,000円	展示室	13人
5	厚木シアタープロジェクト 大人のための演劇体験教室	2023年 3月26日(日)	参加費 1,000円	展示室	14人

(2) 市民文化の普及及び振興に関する事業

	事業名	開催日	入場料等	会場	入場者数等
6	厚木ジャズ祭2022	5月8日(日)	500円 (全席自由)	大ホール	中止
7	私だけのスタインウェイピアノ @大ホール ～大ホールでスタインウェイピアノを 弾いてみよう♪～	①6月23日(木) ②6月24日(金)	厚木市民/ アートメイツ会員 1,800円 それ以外の方 2,000円	大ホール	各日4枠 (完売)
		①8月24日(水) ②8月25日(木)		大ホール	各日4枠 (完売)
		①9月29日(木) ②9月30日(金) ③10月1日(土)		大ホール	各日4枠 (完売)
8	ATSUGI AFTERNOON CONCERT SERIES vol.1 Duo Espoir クラシック名曲リサイタル ヴァイオリン:清岡優子 ピアノ:大野真由子	9月9日(金)	1,000円 (全席指定)	小ホール	241人

9	公共ホール創造ネットワークモデル事業 「小学生向けダンス(身体表現)ワークショップ」 講師: 柿崎麻莉子、飯森沙百合、 モテギミュ、富岡晃一郎 ※神奈川芸術文化財団、地域創造、相模原市、茅ヶ崎市、小田原市との連携事業	12月8日(木)	上荻野小学校	体育館	4年2組 28人
					4年1組 28人
		12月15日(木)	相川小学校	体育館	4年生 37人
					5年生 36人
10	ヴァイオリンとハープの レクチャーコンサート ヴァイオリン: 清岡優子 ハープ: 堀米 綾	12月12日(月)	毛利台小学校	会議室	学習室学級 33人
		12月20日(火)	南毛利小学校	体育館	6年生 158人
		2023年 1月17日(火)	上依知小学校	体育館	1,2,3年生 148人
					4,5,6年生 153人
		1月24日(火)	北小学校	体育館	5年生60人
					6年生65人
		2月2日(木)	三田小学校	体育館	学習室学級 39人
2月3日(金)	相川小学校	音楽室	6年生 34人		
11	ATSUGI AFTERNOON CONCERT SERIES vol.2 David Bryant TRIO JAZZ LIVE ピアノ: デイビッド・ブライアント ベース: マーティ・ホロベック ドラム: 小田桐和寛	3月24日(金)	1,500円 (全席指定)	小ホール	275人 (完売)

(3) 芸術文化の鑑賞機会の提供に関する事業

<音楽・舞台公演>

	事業名	開催日	入場料等	会場	入場者数
12	鼓童 ワン・アース・ツアー2022 ～童(わらべ)	5月14日(土)	一般 6,000円 学生 3,000円 (全席指定)	大ホール	635人
13	硬派弦楽アンサンブル 石田組	7月18日(月・祝)	一般 5,000円 学生 2,000円 (全席指定)	大ホール	729人
14	歌舞伎プレセミナー 講師:高木秀樹(イヤホンガイド解説者)	7月30日(土)	入場無料 (要整理券)	小ホール	77人
15	令和4年度 松竹歌舞伎舞踊公演 出演:中村芝翫ほか ※イヤホンガイド全員に無料貸出あり	7月31日(日)	S席 7,000円 A席 5,000円 Z席 2,500円 (全席指定)	大ホール	692人
16	あつぎ避難訓練コンサート2023 「ピアノ&チェロ 名曲リサイタル」 ピアノ:花田えり佳 チェロ:白井 彩	2023年 2月16日(木)	入場無料 (要整理券)	小ホール	183人
17	あつぎ寄席 特選! よつたり落語会	2023年 2月23日(木・祝)	3,500円 (全席指定)	小ホール	276人
18	NHK交響楽団 厚木公演	2023年 3月12日(日)	S席8,000円 A席7,000円 Z席2,500円 (全席指定)	大ホール	862人
19	あつぎ寄席 市馬・たい平 二人会	2023年 3月19日(日)	3,500円 (全席指定)	小ホール	287人(完売)

<美術展>

	事業名	開催日	入場料等	会場	入場者数
20	第57回 神奈川県美術展 厚木巡回展	10月5日(水)～ 10月10日(月・祝)	入場自由	展示室	374人

<共催事業>

	事業名	開催日	入場料等	会場	入場者数等
21	CRAZY KEN BAND TOUR *好きなんだよ 2021-2022 ※昨年度の振替公演※	4月17日(日)	前売 7,600円 当日 8,100円 (全席指定)	大ホール	898人
22	東京スカパラダイスオーケ ストラ TOUR2022 BEST OF LUCK	4月21日(木)	8,000円 (全席指定)	大ホール	1,181人

23	クリス・ハート 全国ホールツアー2022 「LOVE IS MUSIC」 ※昨年度の振替公演※	5月3日(火・祝)	7,900円 (着席指定)	大ホール	502人
24	しまじろう英語コンサート 2022年 夏公演 FUN AT THE SUMMER FESTIVAL !	6月25日(土)	会館特別価格 3,480円 (全席指定)	大ホール	①578人 ②405人 ③428人
25	リアル恐竜ショー 恐竜パーク	7月16日(土)	3,300円 (全席指定)	大ホール	①811人 ②612人 ③507人
26	よしもとお笑いライブ ～笑いの玉手箱～in 厚木 2022	9月3日(土)	前売4,000円 当日4,500円 (全席指定)	大ホール	1,149人
27	松山千春コンサート・ツアー 2022	10月7日(金)	8,800円 (全席指定)	大ホール	1,265人 (完売)
28	ウルフルズ 30周年ツアー2022-2023 ～楽しいお仕事演奏会～	12月21日(水)	8,000円 (全席指定)	大ホール	535人
29	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 フューチャー・コンサート 厚木公演	12月24日(土)	一般5,000円 シニア4,500円 ユース2,500円 (全席指定)	大ホール	718人
30	きかんしゃトーマス クリスマスコンサート ソドール島のメリークリスマス	12月25日(日)	3,300円 (全席指定)	大ホール	①739人 ②527人
31	クレイジー・ケン・バンド TOUR 樹影 2022-2023	2023年 3月4日(土)	8,800円 (全席指定)	大ホール	963人

(4) 文化情報の収集及び提供に関する事業

厚木市文化会館で開催される公演情報を広く市民に提供するため、厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」を6回発行し、市広報紙に折り込みをして市内の全世帯のほか友の会会員へ配布。また、「厚木市文化会館スケジュール」を毎月発行して、公共施設等を通して市民に配布するとともに、インターネットを利用した情報提供として、厚木市文化振興財団ホームページやフェイスブック及びツイッターに各種公演情報や施設利用案内等を掲載した。

その他、本厚木駅での駅貼りポスターや地下道の掲示スペースの活用、駅前の書店や楽器店などの店舗に協力いただき自主事業の広報活動に努めた。

○厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」の発行

発行：6回（4月、6月、8月、10月、12月、
令和5年2月号 タブロイド判 4頁）

発行日：4月1日号、6月1日号、8月1日号、10月1日号、12月1日号、
令和5年2月1日号

部数：各88,000部

○厚木市文化会館スケジュールの発行

発行：毎月1日発行（A4版・2頁）

部数：1,500部

○ホームページ情報掲載

HPアドレス：<https://atsugi-bunka.jp>

「ぶんか情報館」発行時及び随時更新

○フェイスブック、ツイッター情報掲載

随時更新

(5) 芸術文化振興に関する調査研究に関する事業

事業計画の立案に資するため、公演ごとにアンケートを実施したほか、施設の利用者アンケートを実施し、共催事業の選定や次年度以降の自主事業設定の参考資料とした。なお、WEBによるアンケートは回答数が増加傾向にあるため、積極的に活用した。

また、次年度以降の事業に出演予定のアーティストや協力団体、関連団体のイベントや会議などに積極的に参加し、協力体制を築き、企画制作に活かす取り組みを推進した。

(6) 芸術文化振興のための国際交流に関する事業

隔年度に実施する事業のため、令和4年度は実施無し。

(7) 文化施設の管理運営

厚木市文化会館の指定管理者として、利用者が各施設を最良の状態で行うことができるよう施設の管理運営に努めた。

また、安心安全な施設運営を目指し、災害時対応マニュアルの周知を図るとともに職員研修や防災訓練、観客を入れた避難訓練コンサートを実施。

利用者安全とサービスの向上に努めた。

○指定管理者指定期間

第7期：令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

○令和4年度利用状況（4月1日～3月31日）

施設	利用可能日数	利用日数	利用率	利用者数
大ホール	284日	210日	73.9%	85,523人
小ホール	283日	206日	72.8%	34,009人
展示室	283日	118日	41.7%	10,766人
集会室	283日	242日	85.5%	13,191人
和室	283日	135日	47.7%	3,476人
会議室	283日	208日	73.5%	6,674人
合計				153,639人 (前年比202%)

※ 参考（過去5年間の利用者数）

年度	利用者数
令和3年度	75,996人
令和2年度	30,237人
令和元年度	216,797人
平成30年度	255,177人
平成29年度	259,965人

Ⅱ 令和4年度収支決算書

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	92,042,550	87,765,721	4,276,829
未収金	560,656	5,751,194	△ 5,190,538
前払金	20,795	0	20,795
立替金	0	26,400	△ 26,400
流動資産合計	92,624,001	93,543,315	△ 919,314
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,514,424	6,020,000	494,424
文化事業基金預金	0	3,325,000	△ 3,325,000
特定事業積立金	8,000,000	8,000,000	0
記念事業積立資産	22,740,000	5,740,000	17,000,000
特定資産合計	37,254,424	23,085,000	14,169,424
(3) その他固定資産			
什器備品	332,501	518,851	△ 186,350
その他固定資産合計	332,501	518,851	△ 186,350
固定資産合計	337,586,925	323,603,851	13,983,074
資産合計	430,210,926	417,147,166	13,063,760
負債の部			
1 流動負債			
未払金	23,284,687	23,898,623	△ 613,936
前受金	6,823,082	14,975,743	△ 8,152,661
預り金	751,980	718,499	33,481
委託チケット預り金	11,459,765	1,478,740	9,981,025
未払法人税等	1,451,600	437,300	1,014,300
未払消費税等	1,100,200	760,300	339,900
2 固定負債			
退職給付引当金	6,514,424	5,339,646	1,174,778
負債合計	51,385,738	47,608,851	3,776,887
正味財産の部			
一般正味財産	78,825,188	69,538,315	9,286,873
(うち特定資産への充当額)	(30,740,000)	(23,085,000)	(7,655,000)
指定正味財産	300,000,000	300,000,000	
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)	(300,000,000)	(0)
正味財産合計	378,825,188	369,538,315	9,286,873
負債・正味財産合計	430,210,926	417,147,166	13,063,760

正味財産増減計算書

令和4年 4月 1日 から令和5年3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,769,000	1,769,000	0
事業収益			0
市民文化創造事業収益	4,111,000	4,012,000	99,000
市民文化普及事業収益	848,350	62,000	786,350
芸術文化鑑賞事業収益	16,403,081	16,354,672	48,409
文化情報提供事業収益	126,900	131,600	△ 4,700
友の会事業収益	446,000	223,000	223,000
施設管理運営収益	45,757,285	30,296,514	15,460,771
事業収益計	67,692,616	51,079,786	16,612,830
受取補助金等			
市文化事業補助金	20,000,000	20,000,000	0
市財団管理補助金	75,775,000	75,000,000	775,000
文化庁等補助金	0	14,469,000	△ 14,469,000
受取補助金等計	95,775,000	109,469,000	△ 13,694,000
受取負担金			0
指定管理料収益	174,168,000	161,303,000	12,865,000
受取寄付金			
受取寄付金	10,000	112,000	△ 102,000
雑収益			
受取利息	349	238	111
雑収益	2,553,764	4,499,341	△ 1,945,577
委託チケット販売手数料	1,101,650	344,695	756,955
雑収益計	3,655,763	4,844,274	△ 1,188,511
経常収益計	343,070,379	328,577,060	14,493,319
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	2,033,236	1,702,951	330,285
給料手当	28,059,626	30,370,335	△ 2,310,709
賞金	12,533,088	11,898,288	634,800
福利厚生費	5,870,513	6,408,665	△ 538,152
退職給付費用	1,642,200	0	1,642,200
旅費交通費	93,940	65,317	28,623
通信運搬費	688,771	652,765	36,006
手数料	851,733	760,541	91,192
消耗品費	1,740,945	1,806,625	△ 65,680
光熱水料費	45,088,024	32,930,874	12,157,150
廃棄物手数料	215,756	245,018	△ 29,262
修繕費	2,361,062	2,861,980	△ 500,918
印刷製本費	955,926	1,070,642	△ 114,716
使用料及び賃借料	3,524,569	2,861,570	662,999
保険料	89,188	106,084	△ 16,896
諸謝金	859,598	278,425	581,173
租税公課	2,025,316	1,899,622	125,694
負担金	17,740	19,992	△ 2,252
委託費	48,549,146	51,559,438	△ 3,010,292
施設運営委託費	143,135,339	138,778,756	4,356,583
広告宣伝費	1,781,432	1,433,656	347,776
消耗什器備品費	0	79,007	△ 79,007
減価償却費	183,927	217,043	△ 33,116
燃料費	0	0	0
雑費	1,344,766	5,072	1,339,694
事業費計	303,645,841	288,012,666	15,633,175

管理費			
役員報酬	1,893,090	3,052,570	△ 1,159,480
給料手当	11,239,569	12,165,148	△ 925,579
退職給付費用	657,800	0	657,800
福利厚生費	2,351,493	2,567,057	△ 215,564
賃金	0	0	0
旅費交通費	3,711	2,580	1,131
通信運搬費	228,367	216,430	11,937
会議費	0	2,196	△ 2,196
手数料	3,449,947	3,080,576	369,371
消耗品費	361,646	375,289	△ 13,643
光熱水料費	181,077	132,253	48,824
廃棄物手数料	866	984	△ 118
修繕費	0	0	0
印刷製本費	84,254	94,365	△ 10,111
使用料及び賃借料	14,155	11,492	2,663
保険料	1,304,383	1,551,476	△ 247,093
租税公課	8,134	7,628	506
負担金	190,960	215,208	△ 24,248
研修費	51,920	112,284	△ 60,364
委託費	48,599	51,611	△ 3,012
施設運営委託費	574,841	557,344	17,497
燃料費	18,830	20,688	△ 1,858
消耗什器備品費	0	13,833	△ 13,833
減価償却費	2,423	2,859	△ 436
交際費	0	0	0
雑費	0	0	0
管理費計	22,666,065	24,233,871	△ 1,567,806
経常費用計	326,311,906	312,246,537	14,065,369
評価損益等調整前当期経常増減額	16,758,473	16,330,523	427,950
当期経常増減額	16,758,473	16,330,523	427,950
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
投資有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	6,020,000	0	6,020,000
経常外費用計	6,020,000	0	6,020,000
当期経常外増減額	△ 6,020,000	0	△ 6,020,000
税引前当期一般正味財産増減額	10,738,473	16,330,523	△ 5,592,050
法人税、住民税及び事業税	1,451,600	437,300	1,014,300
当期一般正味財産増減額	9,286,873	15,893,223	△ 6,606,350
一般正味財産期首残高	69,538,315	53,645,092	15,893,223
一般正味財産期末残高	78,825,188	69,538,315	9,286,873
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	378,825,188	369,538,315	9,286,873

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投資有価証券については、重要性の原則の適用により総平均法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品……平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、
平成19年4月1日以降に取得したものについては定率法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	0	0	300,000,000
小計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,020,000	6,514,441	6,020,017	6,514,424
文化事業基金預金	3,325,000	0	3,325,000	0
特定事業積立金	8,000,000	0	0	8,000,000
記念事業積立資産	5,740,000	17,000,218	218	22,740,000
小計	23,085,000	23,514,659	9,345,235	37,254,424
合計	323,085,000	23,514,659	9,345,235	337,254,424

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の増減額及び財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	(300,000,000)	(0)	(-)
小計	300,000,000	(300,000,000)	(0)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	6,514,424	(-)	0	(6,514,424)
文化事業基金預金	0	(-)	0	(-)
特定事業積立金	8,000,000	(-)	(8,000,000)	(-)
記念事業積立資産	22,740,000	(-)	(22,740,000)	(-)
小計	37,254,424	(-)	(30,740,000)	(-)
合計	337,254,424	(300,000,000)	(30,740,000)	(6,514,424)

- 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	5,706,675	5,374,174	332,501
合計	5,706,675	5,374,174	332,501

- 5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
 (貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)
 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	560,656	-	560,656
合計	560,656	-	560,656

- 6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第22回静岡県公債20年	100,000,000	94,900,000	△ 5,100,000
第33回神奈川県公債20年	100,000,000	96,770,000	△ 3,230,000
356回政保 日本高速道路保有債務返済	100,000,000	87,130,000	△ 12,870,000
合計	300,000,000	278,800,000	△ 21,200,000

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表 上の 記載区分
補助金						
市文化事業補助金	厚木市	0	20,000,000	20,000,000	0	
市財団管理補助金	厚木市	0	75,775,000	75,775,000	0	
合 計		0	95,775,000	95,775,000	0	

8 関連当事者との取引内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	法人等 の名称	住所	資産 総額	事業の内容 又は職業	議決権 の所有 割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
						役員の 兼務等	事業上 の関係				
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

2 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,339,646	2,300,000	1,125,222	0	6,514,424

財産目録
令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	745,565	
	預金	横浜銀行厚木支店	運転資金として	91,005,512	
		きらぼし銀行厚木支店	運転資金として	158,473	
		ゆうちょ銀行	運転資金として	133,000	
	未収金		施設利用料・光熱水費等	560,656	
	前払金		令和5年度事業郵送代・印紙代・保険料等	20,795	
	立替金		令和5年度事業に係る経費立替分	0	
流動資産合計				92,624,001	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	第22回静岡県公募公債20年 第33回神奈川県公募公債20年 356回政保日本高速道路保有債務返済機構30年	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	300,000,000
			退職給付引当資産	横浜銀行厚木支店	職員退職金に使用する
	特定資産	文化事業基金預金	横浜銀行厚木支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	0
		特定事業積立金	横浜銀行厚木支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	8,000,000
		記念事業積立資産	横浜銀行厚木支店	リニューアル記念事業に使用する	22,740,000
		その他 固定資産	什器備品	耐火金庫	法人全体の用に供している
	シュレツダ			法人全体の用に供している	1
	ピアノ運搬車			公益目的事業の用に供している	1
	デスクトップパソコン			主に公益目的事業の用に供している	1
	プリンター			公益目的事業の用に供している	1
	リソグラフ			公益目的事業の用に供している	1
	ビデオプロジェクター			主に公益目的事業の用に供している	1
	大ホール コインロッカー			主に公益目的事業の用に供している	89,473
	小ホール コインロッカー			主に公益目的事業の用に供している	50,063
	集会室前 コインロッカー			主に公益目的事業の用に供している	44,738
	和室 コインロッカー	主に公益目的事業の用に供している	44,738		
		ノートパソコン	公益目的事業の用に供している	1	
		チケットプリンター	公益目的事業の用に供している	24,839	
		チケットプリンター	公益目的事業の用に供している	24,839	
		チケットプリンター	公益目的事業の用に供している	24,839	
	固定資産合計				337,586,925
資産合計				430,210,926	
(流動負債)	未払金		令和4年度法人未払分	1,901,591	
			令和4年度施設管理費未払分	19,944,238	
			令和4年度事業費未払分	1,438,858	
	前受金 利用料		翌年度施設利用料	6,780,782	
	前受金 事業		翌年度事業チケット代	42,300	
	預り金		雇用保険、厚生年金等	751,980	
	委託チケット預り金		チケット代	11,459,765	
	未払法人税等		未払法人税等	1,451,600	
未払消費税等		未払消費税等	1,100,200		
流動負債合計				44,871,314	
	退職給付引当金			6,514,424	
固定負債合計				6,514,424	
負債合計				51,385,738	
正味財産合計				378,825,188	

III 監查報告

監査報告書

令和5年4月26日

公益財団法人厚木市文化振興財団
理事長 佐藤 彩子 様

公益財団法人厚木市文化振興財団

監事 浅岡 信一



公益財団法人厚木市文化振興財団

監事 永井 竜一



私たち監事は、公益財団法人厚木市文化振興財団定款第26条の規定に基づき、令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)における理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会に出席し、情報の収集に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業期間に係る事業報告について、その妥当性を検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業期間に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について、その正確性を検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上